

【三陸沿岸道路（宮古田老道路）】

【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

宮古商工会議所（約20名）が宮古田老道路、宮古箱石道路
の工事進捗状況について見学します

宮古商工会議所約20名により、復興道路・復興支援道路の整備による地域の観光産業振興に関する視察として、現場見学会を下記の日程で開催することとしますので、お知らせいたします。

- 開催日時 : 平成29年8月22日（火）10:30から（約5時間00分）
- 集合場所 : 午前：宮古市墓目地内・・・別紙-1（案内図）参照
午後：宮古市千徳地内・・・別紙-2、3（案内図）参照
- 見学場所 : （仮称）茂市トンネル、（仮称）腹帯第1トンネル、
（仮称）閉伊川橋、（仮称）山口第1トンネル
- 実施内容 : 別紙-4（現場見学スケジュール）参照
- その他 : 現場に入場する際のヘルメットは、当方で準備いたしますので必要個数をご連絡ください。

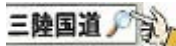
《 発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者会 》

問い合わせ先

【事業に関する問い合わせ】

○ 国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

副 所 長	<small>ひらおか</small> 平岡	<small>ひろし</small> 弘志	（内線 204）	電話 0193-62-1711（代表）
工務第一課 建設監督官	<small>おおし</small> 大鷲	<small>ひろき</small> 浩己	（内線 502）	（宮古田老道路担当）
工務第一課 建設監督官	<small>かわかみ</small> 河上	<small>しんいち</small> 伸一	（内線 504）	（宮古箱石道路担当）

（復興支援道路・宮古盛岡横断道路については、 で検索できます。）

閉伊川橋上部工工事 現場案内図

至 岩泉 ↑

別紙-2



① 堤防上まで直進し、左折



② 分岐を右折し現場内へ



三陸沿岸道路 宮古盛岡横断道路
現場見学会スケジュール

- 10:30 茂市トンネル工事作業現場 集合（別紙－１）
- 10:35 事業概要説明 （三陸国道 建設監督官 河上 伸一）
- 10:40 茂市トンネル工事 見学
・ 工事概要説明 （前田建設工業(株) 現場代理人 反田 正樹）
・ 橋脚、工事用道路の施工現場を見学。
・ 茂市地区道路工事へ移動
- 11:15 茂市地区道路工事 見学 （戸田・岩田地崎JV 現場代理人 尾花 敬治）
・ 工事概要説明
・ トンネル坑内、橋台を見学
- 11:45 昼食休憩
- 13:00 移動
- 13:30 閉伊川左岸工事現場 着（別紙－２）
- 13:35 事業概要説明 （三陸国道 建設監督官 大鷲 浩己）
- 13:40 閉伊川橋上部工工事 見学（日立造船(株) 現場代理人 大野 豊）
・ 工事概要説明
・ 鉄の橋（上部工）を見学
・ 近内へ移動 （別紙－３）
- 14:25 近内地区道路工事 見学 （(株)不動テトラ 現場代理人 北村 仁）
・ 工事概要説明
・ トンネル坑内、橋台を見学。
- 15:00 現地解散

新たな観光ルートの誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 三陸沿岸道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平
(八幡平市入込客数：175万人/年)



遠野盆地
(遠野市入込客数：168万人/年)



展勝地
(北上市入込客数：133万人/年)

世界遺産 平泉
(平泉町入込客数195万人/年)



中尊寺



毛越寺



※入込客数は、平成27年度の値です。

三陸復興国立公園

<p>浄土ヶ浜(宮古市)</p> <p>(宮古市入込客数：122万人/年)</p>	<p>船越半島大釜崎(山田町)</p> <p>(山田町入込客数：23万人/年)</p>
<p>碓石海岸(大船渡市)</p> <p>(大船渡市入込客数：100万人/年)</p>	

三陸ジオパーク

<p>小袖海岸(久慈市)</p> <p>(久慈市入込客数：79万人/年)</p>	<p>北山崎(田野畑村)</p> <p>(田野畑村入込客数：55万人/年)</p>
<p>龍泉洞(岩泉町)</p> <p>(岩泉町入込客数：43万人/年)</p>	

※資料：岩手県観光統計(平成27年、平成28年)

フェリー就航で北海道との広域交流が活性化

- 宮古港～室蘭港間で、新たなフェリー航路が開設(岩手県初の運航)。
- 三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路の整備による、県内各地や仙台圏、首都圏とのアクセス性向上等が航路選定の理由。
- 北海道と東北、首都圏間の交流・物流を活発化させ、東北の復興の加速化に寄与。

■復興道路・復興支援道路の整備とフェリー航路

▼フェリー航路図



▼宮古港周辺の道路整備状況



▼平成27年11月に宮古港でフェリー乗船会が開催され、カーフェリー「シルバークイーン」が寄港



▼航路概要

(川崎近海汽船株式会社プレスリリースより抜粋)

- 開設時期 平成30年6月(予定)
- 運行計画 1日1往復、毎日運行
- 選定理由

- ①急ピッチで進められている復興道路等の早期開通により宮古港から県内各地や仙台圏、首都圏へのアクセスが大幅に向上
- ②トラックドライバーの休憩時間8時間を確保できる最適な航路
- ③両港とも近隣の観光資源が豊富で旅客需要に期待
- ④自治体がフェリー航路の誘致に積極的であり、トラック事業者等からの期待も大きい。

▼観光入込客数の推移と期待

(※宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村)

